

# 滋賀県衛生科学センターだより

No. 8

2009年9月1日

編集発行 滋賀県衛生科学センター

〒520-0834 大津市御殿浜 13-45

Tel 077-537-3050 Fax 077-537-5548

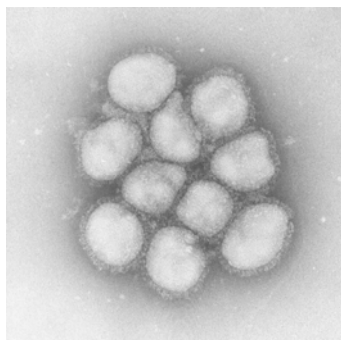
e-mail: [ef45@pref.shiga.lg.jp](mailto:ef45@pref.shiga.lg.jp)

HP: <http://www.pref.shiga.jp/e/ef45/>

## 新型インフルエンザ - 流行の現状と今後に向けて

今年4月24日、WHO（世界保健機関）によりアメリカ合衆国とメキシコにおける新型インフルエンザの発生が発表されて以来、新型インフルエンザは、またたく間に世界中に広がりました。WHOは、「過去の世界的流行では6か月を要したが、今回の新型インフルエンザの流行では6週間で世界中に広がった」と述べています。

5月16日、神戸市で海外渡航歴のない人の新型インフルエンザの確定例が発生したことが報道されました。衛生科学センターでは、その日の夕方から、インフルエンザが疑われる事例について新型インフルエンザウイルスの検査を開始し、24時間体制で対応することになりました。当所では、国立感染症研究所と連携し、5月の連休中には検査の準備を整えていましたので、検査対応はスムーズに開始できました。



新型インフルエンザの  
電子顕微鏡写真：  
国立感染症研究所提供

5月20日8時45分、滋賀県内で最初の新型インフルエンザウイルス確定例が発生した瞬間です。それ以降、新型インフルエンザウイルスの検査対応を行ってきており、7月22日の検査で10人が確定され、累積患者数は100人を超えました。感染症法の改正を受けて、7月24日からは全数把握から、集団発生の早期探知を行う発生動向調査（サーベイランス）に切り替えて確定検査を行っています。県では国と連携をとりながら、様々な新型インフルエンザ対策を行っています。

当所の役割としては、新型インフルエンザウイルスの確定検査を担当するとともに、健康危機管理情報センター、感染症情報センターを担う立場から、WHO、CDC（米国疾病対策センター）が発信している情報を当所のホームページで提供しています。

今後の新型インフルエンザの流行に備えるためには、県民一人一人に新型インフルエンザに関する基礎知識を持っていただき、感染予防のためにはどうしたらよいのかを考えていただくことが重要です。この紙面では、「新型インフルエンザウイルスと検査の流れ」、「新型インフルエンザの発生状況と予防のために」について掲載します。

衛生科学センターでは、昨年度、新型インフルエンザの発生に備えて、当所の役割を想定して訓練を行ってきました。その訓練の経験が今回の対応に役立ったことを実感しています。今回の新型インフルエンザに関する様々な経験を、最悪のシナリオである強毒型のインフルエンザの流行に対しても生かせるよう、その備えを怠ってはならないと考えています。



市内での訓練状況  
平成21年2月27日実施